



梯剛之さんによるピアノコンサート

校長 宮崎美代子

あき ふか お ば ま まいあさ しょくぶついいんかい こ たち ねっしん
秋も深まり、たくさんの落ち葉が舞っています。毎朝、植物委員会の子ども達が、熱心
は おこな たす
に落ち葉掃きを行って来ており、とても助かっています。

げいじゆつ しゅうねんきねんじぎょう かけはしたけし
芸術の秋にふさわしく、11月9日(金)に30周年記念事業として梯剛之さんによる
ひら う びょうき め
ピアノコンサートを開くことができました。梯さんは、生まれてすぐに病気のために目が
ふじゆう も さいのう どりよく
不自由になってしまわれましたが、持って生まれた才能とたゆまぬ努力によって、現在、ピ
せかいてき かつやく しょうがっこうそつぎょう どうじ こくりつ
アニストとして世界的に活躍されています。梯さんは、小学校卒業と同時にウィーン国立
だいがくじゅんびか にゅうがく ほんかくてき おんがく べんきょう ご こくさい
大学準備科に入学し、本格的に音楽の勉強をされました。その後、ロン=ティボー国際
だいいい ちゅうもく あつ つた
音楽コンクールで第2位となり注目を集めました。“NPO 梯剛之の子どもに伝えるクラシッ
えんそう つう す ば こころゆた そだ
ク”(演奏を通じて、子ども達にクラシック音楽の素晴らしさを伝え、心豊かに育てほしい
ねが き も せつりつ ひ えいりかつどうにんいだんたい かつどう えん
と願う気持ちから設立された非営利活動任意団体)という活動もなさっており、そのご縁
でコンサートをお願いすることができました。

がっきよく かい き おぼ
梯さんは、楽曲を4回くらい聴くと、ほとんど覚えることができるのだそうです。そのあと
せいかく かくふ こま しじ きょうじゃく はや きゅうふ ひょうじょう
さらに正確に覚えるために、楽譜の細かい指示(強弱、速さ、アクセント、休符、表情等)
せつめい かくじつ きおく いちど なんねん わす
を説明してもらい、少しずつ確実に記憶していき、そして一度覚えてしまうと何年たっても忘
はなし おどろ えんそう ちからづよ せんさい き
れないそうです。子ども達は、そんな話にとっても驚きながら、演奏の力強さと繊細さに聴き
い つき ひかり こいぬ
入っていました。演奏していただいたのは①月の光(ドビュッシー)②子犬のワルツ(ショパ
げんそうそつきょうきよく えいゆう
ン)③幻想即興曲(ショパン)④英雄ポロネーズ(ショパン)の4曲で、そのあと梯さんの
ばんそう ぜんいんがっしょう えい たんちょう いさく
伴奏で「ビリーブ」を全員合唱しました。アンコールとしてノクターン嬰ハ短調~遺作~(ショ
ひ たいくかん な ひび はくりよく とお
パン)も弾いていただきました。体育館に鳴り響く迫力あるフォルテシモ、小さくても遠くまで
とど す とお ねいろ
届く透き通るようなピアノシモ…いつものピアノではないかのような音色を聴くことができ、
かんどう みずか きょくもく さつきょくか せつめい ていねい
とても感動しました。梯さん自ら曲目や作曲家の説明も丁寧にしていただけなので、より
わ ほんにん すかた とお
分かりやすかったと思います。梯さんご本人の姿を通して、音楽の素晴らしさだけでなく、
い ゆうき あた かんしゃ
生きる勇気というものを子ども達に与えていただいたような気がします。感謝とともに、
けんこう いの
梯剛之さんのご健康とますますのご活躍をお祈りしたいと思います。